



おち あい しん ご 落合慎悟県議

静岡県議会報告
2025年1月号

静岡県政に対するご意見
ご要望をお寄せください。

5月17日 県議会臨時会で第117代議長に落合慎悟県議を選出!!



議長就任直後の議案起立採決 (知事席は選挙中で未就任)

5月17日臨時議会が開催され、議長に推挙されました。明治12年から続く静岡県議会の名誉ある117代議長として、その責任の重さに身の引き締まる思いであります。公正で公平、円滑な議会運営に最善を尽くしてまいります。



議会事務局職員に就任挨拶 (全職員50人余)



議長室 昭和12年築 (国文化財)、昭和天皇が宿泊された



県庁玄関階段



議長室入口



運営は常に細心の注意



議場の様子(知事と連携し、円滑運営)

議長の務め (多忙だけど、新しい経験が沢山あり、楽しく励む!!)

全国議長会 (都道府県会館)



全国議長会には、全体会と地域別、隣接県、原発立地、政令都市、南海トラフ関連県などがあり、関連する議題を協議し、要望活動をおこなう。

県内市町議会と連携協議



県内の町長会への出席や市町議長会との協議会、研修会も開催する。協議会は県議会議長が会長として対応する。

皇室対応 (佳子様 馬術競技)



皇室が来静の場合、知事と議長が対応する。7月に佳子様、9月に高円宮久子殿下が来静

要望受付 (藤枝市道路要望)



議長に要望する団体は多岐に亘る。道路や河川整備はじめ、福祉医療、教育や観光経済対策など自治会、経済界等から年間通じて非常に多い。

県議会広報 (親子県議会)



県議会の広報 PR 活動の一環、ふれあい親子県議会教室の開催や高校生出前講座、大学生との意見交換会も開催する。

外国と友好交流 (タイ)



外国特使との友好交流には、知事が署名し、議長が立会人。4月是中国浙江省に訪問団長

各種大会・総会等行事



福祉・教育、経済界、農業漁業団体、行政書士会、宅建協会などの総会、大会に来賓出席要請がある。重なる場合は副議長と振り分けて参加。

各種委員会答申 (人事委員会)



人事委員会や監査委員会などから答申や意見書などの報告を受ける。

県主催の行事 (知事表彰)



県知事表彰や技能五輪、市町対抗駅伝など県主催行事には壮行会や表彰式で称える。

県議会 HP 議長の活動!!



静岡県議会ホームページには、議長の挨拶動画や議長写真レポート表示されている。ご覧ください!!

落合慎悟事務所

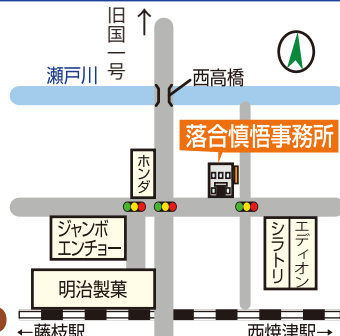
〒426-0031 藤枝市築地838

TEL 054-645-8100

FAX 054-645-8111

メール s.o@thn.ne.jp

http://www.ochiai-shingo.jp



12月21日大村酒造で新酒の完成!! 飲み心地は、辛い!! が食事とは相性が良い!!

静岡大学人文社会科学部の発酵研究所 (所長大島志麻教授) が登呂遺跡で田植えした「古代米」(赤米)を収穫し、島田市大村酒造の協力により新酒が完成!! 飲み心地は、辛い!! が食事とは相性が良い!!

静岡県議会報告 五輪会

自民改革会議
静岡県議会議員

おち あい しん ご 落合慎悟



2023年度、国税収入72兆761億円!!過去最高!!消費税23兆922億円は所得税・法人税を抜いた!!

所得税「103万円の壁」論議があるが、好調な企業業績、物価高・インボイス導入で法人税消費税が拡大。しかし、支出を賄うには全く足りない。国債発行額は歳出の27%で、国の財政収支は26兆円程度赤字だ。

内閣府は、政策経費を税金などで賄えているかを示す基礎的財政収支(PB)を25年度に黒字に転換する試算を7月に示した。しかし、社会保障費が賄えているだけで、国債の利払い費は枠外だ。2024年度末には普通国債残高が1,105兆円と見込まれ、今後、金利上昇1%でも、11兆円となる。先進諸国の中で最悪水準!!

全国小中学校の不登校生徒23年度34万人(長期欠席全体49万人)静岡県は11,524人!!大幅増加!!

静岡県は2012年度の3,598人から3.2倍となった。人数的には中学2年が2.6倍の2,473人と最多だが、小学1年6.8倍348人、2年8.3倍571人の増加が顕著で、教育専門家は増加には2つの背景を指摘する。

第1は教員の世代交代。第二次ベビーブーム大量採用教員の定年退職で20~30代の力量不足若手が増えた。第2は教員不足の深刻化。女性の採用受験者が10年で半減、特に小学校女性教員不足が深刻化し、教員未配置増加で現場教員の余力を奪い子供の声にじっくり耳を傾けることを難しくしている。

いじめ防止対策推進法は、いじめが不登校の原因となった「疑いがある」時点で重大事態とみなして調査することを求めている。しかし、教員が不登校の本人や保護者の話を丁寧に聞くことすら難しくなっている。

静岡大学と浜松医大の合併は表向き!!静岡キャンパス大学と浜医・浜松キャンパス大学に分割構想!!

平成31年に大学法人の統合と大学再編に関する合意書を両学長名で取り交わした。しかし、人文系を中心に静岡大学側が再編反対を表明、反対立場の日詰学長が2021年に学長選挙で選ばれた。2023年3月、浜松医大・浜松市経済界を中心に静大・浜医大統合再編促進期成同盟会を設立し、静大学長を批判している。

大学の問題になぜ経済界が口を出すのか、それも県西部地区市町だけでなく、県東部地区の市町や市町議会まで同盟会に参加しているのも解せない。2022年3月、同盟会参加団体案に県病院協会名が記載、理事の私は猛反対をし、名簿から削除させた。私は利権や損得感情で行政圧力をかける者たちに憤りを覚える。

文科省は大学定員2023年63万人を2040年46万人に減少と発表!!大学規模の適正化、統合や淘汰が必至!! 国立大学には国から負託を受けている役割と、社会全体から求められている役割がある。自ら資金を獲得していく「稼げる研究」工学系と人文系など「稼げない研究」がある。静大には各学部研究に多大な実績がある。

静大も「稼ぐ力」を強化しなければ淘汰される。九州大学は産学連携組織を株式会社に移し、意思決定の迅速化を図っている。静岡大学は規模の拡大とともに産学連携を強化し、その役割を果たすべきと考える。

静岡大学と浜松医大が1つの大学として統合することで、総合大学としての大きな成果を期待できる。静大日詰学長が提唱する富士キャンパスを創設し、静岡県内の文化教育・情報工学・医学の連携に期待する。

皆様から力強いご支援を頂き、平成6年に藤枝市議、19年に静岡県議にさせて頂き、昨年5月17日に117代静岡県議会議長に推挙賜りました。責任の重さに身の引き締まる思いであります。歴史と伝統を重んじ公正公明で円滑な議会運営に務め、静岡県の名を汚さぬよう静岡県発展のため全力を尽くしてまいります。

令和6年12月県議会定例会 知事提案説明要旨



鈴木知事は5月29日に初登庁し、「オール静岡で幸福度日本一の県を目指す」との県を目指すため、様々な取り組みをしていきたいと職員の前で述べた。

- ・次期総合計画の策定…「幸福度日本一の静岡県」を実現するためオール静岡で発展を目指す。経営方針「行動計画」の2層構造。
- ・静岡県未来創造会議…11/1第1回会議開催。テーマは、「県を牽引・創造する取組」及び「基盤となる財政状況」。
- ・地域防災力の強化…11月「地震防災強化月間」、12/1各地域防災訓練実施。「自助」「共助」を強化、「公助」地域防災充実に努める。
- ・盛土対策…災害防止上の規制は、より厳しい盛土規制法に委ねる。環境上の規制の一部の合理化を図るため見直し案を取りまとめ。
- ・犯罪被害者等への支援…11/26、現行の支援体制の課題を客観的に検証し、実態に即した支援など検討する有識者会議を立ち上げ。
- ・県職員のデジタルリテラシーの向上…来年1月から幹部職員を対象とし、必要なDX推進の考え方やスキルを学ぶ研修等実施。
- ・CNF(セルロースナノファイバー)プロジェクト…10/24~25、ビジネスマッチングの場となる国際展示会を富士市で開催。
- ・茶葉振興…11/2~3に、9年ぶりに「全国お茶まつり」を浜松市で開催。来年には、本県独自に「世界お茶まつり2025」を開催。
- ・リニア中央新幹線建設に伴う大井川水系の水資源及び南アルプスの自然環境の保全…11/26「対話は着実に進んでいる」と総括。
- ・富士山静岡空港…「行くら、今なの!静岡トク旅」キャンペーン実施。上海線及び杭州線を対象に割引実施。新規路線開設取組。
- ・世界遺産富士山の登山規制導入に向けた取組…一定の管理料徴収を地元関係者と合意。来年2月議会での条例案の提出を目指す。
- ・地域外交の推進…中国・浙江省と経済交流を一層推進し経済活性化。インド・グジャラート州と友好協定の締結に向けて調整。
- ・聴覚障害児の療育モデル構築…オーストラリアの療育手法を全国で初導入。静岡県立病院機構と連携し療育モデル事業に取組む。

常任委員会報告 総務委員会



次期総合計画が別資料で渡された。2月議会で知事の方針に対する議論が本格化する。

- ・「未来創造会議」の開催…11/1、第1回会議開催。「県を牽引・創造する取組」と「基盤となる財政状況」の2テーマについて議論。
- ・クラウドワーク・サービス活用促進事業…「子育てと両立できる働き方の導入」推進。時間や場所に縛られない働き方を普及。
- ・宝くじの発売…R7年度発売限度額190億円。収益は、河川事業費、防災啓発強化事業費、保育推進事業費、美術館運営事業費等。
- ・次世代エモビリティ導入促進ロードマップの策定…「ユースケース別の社会実装の促進」と「関連産業の振興」の両輪で推進。
- ・県職員のデジタルリテラシーの向上…職員全体のデジタルリテラシー向上により、組織全体の変革への受容性を高めDXを加速。
- ・地域外交の展開…重点6か国・地域(中国、韓国、モンゴル、台湾、インドネシア、フィジーなど)を中心に地域外交を展開。
- ・静岡県日本語教育推進基本方針の策定…状況変化や関係者の日本語教育への関心の高まりを踏まえて見直し、新方針を策定。
- ・核燃料税の更新…S55年から浜岡原発の周辺地域の原子力安全対策等に対応するための課税は、現行同様に引き続き5年間継続。
- ・第2期静岡県公共施設等総合管理計画の策定…R7年1月パブリックコメント実施。R7年3月第2期計画の策定・公表。